

令和3年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,002	5,077	75	(注1)
施設整備費補助金	557	469	△ 88	(注2)
補助金等収入	377	531	155	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	0	
自己収入	2,354	2,277	△ 77	
授業料、入学金及び検定料収入	2,267	2,186	△ 81	(注4)
雑収入	87	91	4	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	756	661	△ 96	(注6)
引当金取崩	-	-	-	(注7)
目的積立金取崩	112	190	78	(注8)
計	9,178	9,226	48	
支出				
業務費	7,467	7,048	△ 419	(注9)
教育研究経費	7,467	7,048	△ 419	
施設整備費	578	490	△ 88	(注10)
補助金等	377	416	39	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	756	655	△ 101	(注12)
計	9,178	8,609	△ 569	
収入-支出	0	617	617	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、計画時に見積もっていた前年度からの繰越額以外に、次年度への繰越額が発生したことに伴い、予算額に比して決算額が75百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部について交付決定金額よりも執行金額が少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が88百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、前年度交付決定されたものが本年度入金されたこと等に伴い、予算額に比して決算額が155百万円多額となっています。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が96百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として当初の見込より志願者数及び入学者数が少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が81百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として学校財産貸付の収入金額が予定より増加したことに伴い、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等収入及び寄附金収入等については、主として計画時に見積もっていた産学連携収入が当初の予定より減少したことに伴い、予算額に比して決算額が96百万円少額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、該当ありません。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更等により、目的積立金の取崩額が増加したため、予算額に比して決算額が78百万円多額となっています。
- (注9) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたことに伴い、予算額に比して決算額が419百万円少額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が88百万円少額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が101百万円少額となっています。